



企画展の案内  
月曜休館・祝日の場合は翌日休館  
\*入館無料\*

## スタンドグラス教室「ハイジ」作品展 4月24日(土)～5月5日(水) (5日は15:00まで)

志免町のスタンドグラス教室「ハイジ」の作品展を行います。主催者の中島法香さんのメッセージです。  
「20年前、ヨーロッパの大聖堂でスタンドグラスと出会って以来、スタンドグラスの魅力にとりつかれ製作を始めました。バッハの音楽の流れる大聖堂とスタンドグラス、何とも言い表わせないすばらしさです。13世紀のヨーロッパで初めて作られたスタンドグラス、先人達の苦勞に感謝しながらたくさんの人にスタンドグラスのすばらしさ、手づくりの楽しさを知ってもらい、これからも製作活動を続けていきたいと思います。」



### スプリングコンサートのご案内

～おとなのためのピアノ・キーボードコンサート～

- とき 4月29日(木・祝) 13:00～15:00
- 場所 久我記念館



中島法昭コレクション万年筆展も同時開催します

企画展開催中です  
堀澤 大吉 個展  
4月3日(土)～18日(日)

### 平成21年度 自己評価報告会

## 学校自己評価報告会

平成21年度須恵町教育委員会・校長会 学校自己評価報告会(須恵町教育委員会主催)が、2月18日(木)にアザレアホール須恵で行われました。これは、各学校の成果と課題を町全体で共有することにより、同教育委員会が今後の適切な教育施策の指針とすることを目的に行われたものです。この報告会に、各小中学校の校長や学校関係者、町議会議員、各コミュニティ、社会教育関係団体などから約50人が出席しました。

評価委員会からの改善点の報告がなされました。

その後、全体での協議が行われ、「評価の妥当性と次年度の方向性について」と題して、質問や学校へどのような支援が必要か話し合われました。須恵第二小学校の羽原哲男校長は「重点目標達成のための具体的方策のひとつとして、分かる喜び 話し方聴き方指導の充実を目指しています。将来の夢や目標に向かってたくましく生きていく子を育てていきます。」と話されていました。

### 参加者アンケート

■各学校の取り組みが比較しやすかった  
目標や課題、取り組みを分かりやすく発表されていた。それぞれの特色が出て、学力など共通のテーマでの各学校の取り組みも比較しやすかった。

### ■次年度は重点課題に焦点を

児童・生徒の実態に即して学校目標を設定して、自己評価を通して改善、研鑽に努めてあるのはすばらしい。特に心の教育に力点をおき豊かな感性づくりに努めているので、家庭の教育との連携を密接に図る必要性がある。次年度は重点課題に焦点を当てて具体的な取り組みの発表と改善策を。



スクリーンを使って自己評価の報告と課題などを発表

会は、各校長による自校の「自己評価の報告及び成果と課題」の発表がありました。各15分程度の持ち時間で、重点目標の達成のための方策や課題への取り組み、学校関係者評

## 楽しい

## 考古学

### 200年前の陶工「実次」



発見された鋳型 (写真撮影 岡紀久夫)



銘「齊藤実次作」

平成18年度から21年度まで、上須恵皿山の須恵焼窯跡で発掘調査を実施しました。陶器所跡と伝わる平坦面から昨年度、2点の資料が見つかりました。  
発見されたのは土製と石製の鋳型で、中央にC字状のものが彫られています。側面に溝が彫られ、注ぎ口もみられます。上須恵で窯を開かれている倉島岱山さんによると、この鋳型は須恵焼を作るに使用した鋳型だそうです。2枚合わせて注ぎ口から泥漿(ドロドロになった土)を流し込み、C字状のパーツを作成したようです。  
土製のもの(手前)は、裏に「齊藤実次作」と書かれています。陶工の名前と思われる。「実次」の名前は文政13(1830)年に書かれた「若殿様上須恵村御成達記録」にみられ、同一人物を指すと思われる。発掘調査の成果により、文献資料の検証ができました。(啓)